

## 早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 2月分 各業界からのコメント

### ◎建設業

- ・能登半島地震の被害に遭われた方の事を考えると素直に喜ぶ事は出来ないが、受注減によって売上減少に陥る見込みだった1~3月期が、この災害復旧工事が特需になり、その減少分を少しカバーする事ができた。
- ・2024年1月1日に発生した能登半島地震の影響で住宅の問い合わせ自体は増えているものの、原材料高騰の影響から業況としては芳しくないのが現状。
- ・災害があり、船の需要が増えているが、燃料の高騰、船員不足が懸念される。
- ・能登沖地震による人的被害はなし。会社施設については大きな被害がないが、石川県に実家をもつ社員、新潟市内の社員宅において、家屋被害が散見。2024年問題については、上限規制対応レベルについては同業他社レベルで4月に臨む。

### ◎製造業

- ・物流の融通が利かない状況が続いている。コスト上昇のため値上げ予定。全体に仕事の流れが良くない。
- ・鋼材の一部値上げが予定されており、販売価格への転嫁を含め留意が必要。
- ・2024年問題がどうなるのか心配していたが、流通システムの変化によりいろいろな事に影響が出てきている。さらに仕事上の混乱は出てくるかと思うと、計画すら立てられずにいる。大企業中心の政策ばかりではなく、中小零細に目を向けてほしい。

### ◎卸売業

- ・昨期に比べ公共発注件数増。公共資材卸売りの為今年歳末は受注件数増が期待出来るか。
- ・今回の地震で県内観光産業はかなり影響を受けており、しばらくは続くのではないだろうか。
- ・能登半島地震により、自粛ムードの影響から、旅館・ホテル等の宿泊のキャンセルにより、大葉やつま物等の販売が苦戦しており、暖冬傾向により冬商材も商品がだぶついており、売れ行きは悪い。
- ・昨年末までは前年の売上を上回っていたが、今年に入って1月は減少した。この分だと2月も減少が予想される。1月1日に起きた能登地震の影響が少なからず出ていると思われる。1日も早い復興を願っている。
- ・原材料高騰により急激に仕入単価の値上げが続いている。また、出荷時の運賃の値上げも予定されている。

### ◎小売業

- ・地震の影響や物価の値上がり等で売上が減少していると思われる。昨年はGo To Eatや地域商品券等があったが、今年はない分その点でも影響が出ていると思う。
- ・引き続き、暖冬・小雪により季節商品の販売は低調に推移している。加えて昨年1月末の全国的な寒波の影響で、水道管の凍結補修需要が発生した反動を受けている。また、能登半島地震の影響で、災害備蓄用品や防災用品等の需要は北陸地区中心に継続して発生しており、今後復旧が進むにつれ、住関連商品・リフォーム関連等の動きは増加していくと予想している。
- ・正月に能登半島地震があつてから、県外の来店客が減っている模様。回りまわって小売業には影響がでそう。道の駅のイベントに出店していたところ、県外客が少なくお土産品を含め商品の売上が悪く、風評被害が出ているようだ。

## ◎サービス業

- ・新潟市内のタクシー事業者については、能登地震後の損害保険会社による家屋調査の利用が発生しており、通常の業務をお断りせざるえない状況でタクシー車両の稼働が増大している。しかしながらこれらの売上は全て売掛であり会社に現金が入らず、資金が廻せない事態になっている。また、この調査業務が終了した後が心配である。
- ・地震後の損害保険会社の調査で連日の貸し切りがあるが、地震の影響からか夜の人出が落ち込んできている。ガソリンなどへの補助金には救われるが、原材料高騰には追い付かず。さらに乗務員の離職が激しくなってきたり、営業収入が減少している。
- ・地震の影響もなく今年度は予定通り着地点が見えてきた。来年度に向けては案件数に対し人材不足が懸念される。
- ・能登半島地震が経済活動へ与える影響の推移を見極める必要があり、今後の復興需要を業界としての確にとらえて企業活動に反映させられるかがポイントとなる。しかしながら、需要に対して人手不足問題がネックとなり充分対応できる態勢が整わないことが予想できる。
- ・受注はあるものの、人出不足のため進めていくのに苦労している。また、原材料高騰を価格に転嫁することに時間がかかっているのに加え、物価高を賃金に反映することもまだ難しい部分もある。
- ・物価高が賃金上昇に繋がればいいと思う。賃金が上がってから私たちの業界に影響が出てくるように感じる。
- ・能登半島地震や大雪による高速道路の通行止めにより、輸配送に影響が生じており、売上減少が懸念される。
- ・インボイス制度・電子帳簿保存法の施行で現場、管理部門とも工数が増え、対応に苦慮している。施行の背景は理解できるが、現実とのギャップがありすぎる。
- ・能登地震から早いもので1ヶ月が経過。新潟市の西区も結構な被害だった。今年はTVで言っていた通り、暖冬で雪は降ったものの、例年に比べたら少なく助かった。季節の変わり目や、冬場の寒さも高齢者の身体には堪える為、体調不良などで入院や救急搬送など気が休まらない。ただ、地震などで怖い思いをした独居の高齢者やご家族からは多くの問い合わせを頂いた。喜ばしい事ではあるも複雑な心境でもある。
- ・営業活動を行うにあたり、年始と4月新年度の間期間となり商談時間が組みづらい時期となっている。そこに能登地震による物流停滞が重なり、予定していた業務や見込商談が後に流れるというのも出てきている。
- ・地震・津波の影響は無し。今期より消費税課税対象になるため事務手続きが増える。
- ・昨年9月からの県外案件が顕著で8月までは計画された。しかし、新潟市は開発案件が多数あるが、進む気配が感じられない。残念だ。